

Aichi Pediatric Association

*The 50<sup>th</sup>*  
Anniversary Issue

愛知県小児科医会  
50周年記念誌

愛知県小児科医会  
since 1959

# 愛知県小児科医会50周年記念誌発刊にあたって

愛知県小児科医会 会長

志水哲也



愛知県小児科医会は昭和34年(1959年)10月25日愛知県医師会館にて佐野寅一先生を初代会長として設立総会が開かれました。設立当時の会員数は198名(平成21年現在393名)であったと記されています。その後半世紀の時を経て今年設立50周年を迎えることとなりました。またここに50周年記念誌が発刊される運びとなり、まことにめでたく喜びの限りであります。

小児科医会が設立された昭和34年にはいろいろな出来事がありました。4月10日には天皇・皇后両陛下がご成婚され、日本中が祝賀ムードに包まれました。一方悲しい出来事としましては、9月26日に死者行方不明者5000名以上を出した、伊勢湾台風が上陸した年でもありました。当時医学部の学生であった私たちは、同級生と共に1週間ほどボランティアとして南区の水没地帯に出掛け、遺体の身元確認のお手伝いや、派遣された医師や看護師さん達とボートにのって巡回し怪我人の手当のお手伝いをしたことなど、あの悲惨な光景が今でも脳裏に浮かんでまいります。小児の医療面では、6月15日に急性灰白髄炎(いわゆる小児麻痺・ポリオ)が指定伝染病となり、コレラ、赤痢などの法定伝染病と同じ取り扱いをうけ、罹患者が正確に把握出来ることとなりました。当時、ポリオの発生はかなりの数に上り、昭和33年は2,610人が罹患、昭和34年は2,917人、昭和35年には5,606人と最悪の状態でしたが、昭和36年に生ワクチンが導入され、現在日本におけるポリオがほぼ制圧されているのはご承知の通りです。このように昭和34年という年は非常に忘れられない年であります。

さて当医会では、平成元年10月に30周年記念式典、平成11年11月には40周年記念式典がおこなわれました。40周年以降の医会の事業としては、それまでと同じく総会、例会、講演会、臨床懇談会などの開催、会報の発行、ホームページによる広報活動、子どもの健康を守る会の開催、さらに産婦人科医会との共催による「良い子を生み良い子を育てる会」、そして愛知県医師会及び県内4大学医学部小児科学教室と連携して「子どもの健康週間」などを行ってまいりました。さらに全国規模の事業としては平成8年に阪名誉会長を会頭として行われた第7回日本小児科医会セミナーに続き、平成16年に杉浦名誉会長を会頭に「今、小児科医が子どものために学ぶべきこと」-Refresh in Nagoya-をメインテーマとして第15回日本小児科医会セミナーを開催し成功裏に終わることができました。これらのことは関係機関や会員の先生方の温かいご支援の賜物と思えます。